

県外派遣報告書

審判員名	山岸 大輔	所属	高体連
大会名	平成29年度 男性関東講習		
期 間	平成29年7月8日(土)・9日(日)		
会 場	茨城県 つくば秀英高校		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
7月8日(土)	開講式・実技・ルールテスト	つくば秀英高校体育館	
7月9日(日)	フィットネス・閉講式	つくば秀英高校体育館	
会議 講義 内容			
<p>開講式にて審査委員を代表して小林哲夫氏からは、「見ている人を気にしないで。余計なことを考えないように」と、関東審判長の渡邊整氏からは、「来ることが目的ではない。A級になるために来ている。昨年からの成長を見せてほしい」とそれぞれお話がありました。また閉講式では、小林氏からは「結果如何にかかわらず、これからも日々頑張ってもらいたい。若い人はもっと若さを出して！」と、渡邊氏からは「暑い中、無事に終わって良かったが、我々はどんな環境でもできないといけない。瞬間的・感覚的に吹いていることが多い。プレーを長く見て、判定の根拠をもっと持ってほしい。指摘されたことは今すぐ意識して取り組んでもらいたい」とそれぞれ総括されました。</p>			
実技			
	期 日	7月8日(土)	
担当試合	対戦カード	常磐大学高校(茨城) VS 藤枝明誠高校(静岡)	(主審) 副審
	相手審判	土田 康隆 氏(茨城)	
ミーティング内容		主任 三好 啓太 氏(千葉)	
<p>トレイルのセットアップポジション・クローズダウンポジションといったようなものを考えてみること。後半足が止まり、トレイルの位置が高くなってしまったなどした。タイムアウト時、これからどうなりそうかの確認を。準備なく入り、遅れてしまった場面があった。リードのクローズダウンの使い方に修正を。準備ができていないからスイッチサイドで走る必要が出てくる。もっと準備を早く。相手のプライマリーは相手に任せて自分のプライマリーを死守すること。非常に暑く、大変厳しい状況でのフエとなったが、こういうときだからこそ普段の悪い部分(無意識の部分)が出てしまったのでは。</p>			
全体の感想			
<p>昨年に引き続き5回目の関東講習となりました。昨年以上に心と体を充実させ臨みましたが、自分としては自分らしく40分間やりきることができず、悔しい思いでいっぱいです。普段から取り組んできたものをしっかり出せず、これまでの取り組みの甘さを実感しています。しかし、昨年度に引き続き、今回も1次を通していただき、9月の2次に再びチャンスをいただきました。具体的な反省点や改善点をいろいろといただきましたので、9月に向けてさらに頑張りたいと思います。</p> <p>関東講習に向けて頑張ってきて、自分なりに以下の3点を改めて考えさせられました。</p> <p>①プライマリーを死守する。相手のエリアを吹くことは自分のエリアをそのときおろそかにしていることになる。プライマリーを頑張ることが二人の協力の第一。</p> <p>②ブラインドコールは絶対あってはならない。</p> <p>③ルールやガイドラインにのっとって、ダメなものはダメと40分間吹き続ける。</p> <p>この3点に関しては、自分の活動はもちろん、指導の場面でも活かしていければと思います。</p> <p>改めて、派遣していただいた埼玉県協会の方々には御礼申し上げます。昨年の悔しい思いを忘れず、そして皆様のご期待に応えられるよう、まずは9月に向けて頑張りたいと思います。また茨城県協会の方々には2日間大変お世話になりました。</p>			